

平成26年1～3月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成26年1～3月期）の業況判断D Iは (-)59.8 で、前期（平成25年10～12月期）(-60.4)に比べ、0.6ポイントの改善。

② 来期の見通し

来期（平成26年4～6月期）の業況見通しD Iは (-)61.4 で、今期の業況判断（-59.8）に比べ、1.6ポイントの悪化の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —



表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

	平成25年				26年	
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	2.8	3.5	3.0	4.1	4.3	3.3
普通/不変	27.2	31.2	30.0	31.4	31.6	32.0
悪い/悪化	70.1	65.3	67.0	64.5	64.1	64.7
D I	-67.3	-61.8	-64.0	-60.4	-59.8	-61.4
参考						
日銀短観(大企業全産業計)	-1	8	13	18	21	11
中小企業景況調査(全産業計)	-38.8	-29.5	-29.0	-25.0	-24.7	-20.7

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成26年4月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	229万3000円で、前年同期に比べ、9.9%の増加
□「卸売業、小売業」は	400万7000円で、前年同期に比べ、1.5%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	201万8000円で、前年同期に比べ、1.9%の減少
□「サービス業」は	110万2000円で、前年同期に比べ、10.6%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	65万4000円で、前年同期に比べ、16.2%の増加
□「卸売業、小売業」は	46万3000円で、前年同期に比べ、25.8%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	34万1000円で、前年同期に比べ、11.0%の減少
□「サービス業」は	35万2000円で、前年同期に比べ、17.6%の減少

※前年同期(平成25年1～3月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成24年 1～3月期	2,485	633	3,957	385	1,963	363	1,102	396
	4～6月期	2,495	606	4,278	415	2,086	348	1,204	447
	7～9月期	2,332	612	4,201	433	2,164	354	1,171	416
	10～12月期	2,682	765	4,431	435	2,189	390	1,291	463
	平成25年 1～3月期	2,086	563	3,948	368	2,058	383	1,232	427
	4～6月期	2,183	630	3,932	398	2,087	424	1,405	522
	7～9月期	2,119	651	3,969	446	2,158	433	1,274	437
	10～12月期	2,474	676	4,376	441	2,249	406	1,274	448
	平成26年 1～3月期	2,293	654	4,007	463	2,018	341	1,102	352
	前年同期比 (%)	平成24年 1～3月期	21.7	9.0	-3.5	-15.0	-4.7	0.6	-9.7
4～6月期		21.2	-2.4	3.3	-4.4	-2.0	-11.7	-5.9	-10.1
7～9月期		10.6	-0.5	-3.2	-8.5	-1.3	-20.6	-6.2	-9.2
10～12月期		13.5	13.5	-1.0	-2.7	3.6	-2.5	-0.8	-8.3
平成25年 1～3月期		-16.1	-11.1	-0.2	-4.4	4.8	5.5	11.8	7.8
4～6月期		-12.5	4.0	-8.1	-4.1	0.0	21.8	16.7	16.8
7～9月期		-9.1	6.4	-5.5	3.0	-0.3	22.3	8.8	5.0
10～12月期		-7.8	-11.6	-1.2	1.4	2.7	4.1	-1.3	-3.2
平成26年 1～3月期		9.9	16.2	1.5	25.8	-1.9	-11.0	-10.6	-17.6

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	11万6000円で、前年同期(6万5000円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	8万3000円で、前年同期(10万円)に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	8万7000円で、前年同期(6万4000円)に比べ、増加
□「サービス業」は	7万3000円で、前年同期(12万5000円)に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	5.1%で、前年同期(3.1%)に比べ、2.0ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	2.1%で、前年同期(2.5%)に比べ、0.4ポイントの低下
□「宿泊業、飲食サービス業」は	4.3%で、前年同期(3.1%)に比べ、1.2ポイントの上昇
□「サービス業」は	6.6%で、前年同期(10.1%)に比べ、3.5ポイントの低下

※前年同期(平成25年1～3月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成24年	1～3月期	79	3.2	49	1.2	53	2.7	56	5.1
	4～6月期	94	3.8	76	1.8	64	3.1	101	8.4
	7～9月期	100	4.3	71	1.7	115	5.3	91	7.8
	10～12月期	131	4.9	60	1.4	64	2.9	74	5.7
平成25年	1～3月期	65	3.1	100	2.5	64	3.1	125	10.1
	4～6月期	56	2.6	118	3.0	59	2.8	63	4.5
	7～9月期	139	6.6	81	2.0	78	3.6	45	3.5
	10～12月期	122	4.9	89	2.0	89	4.0	44	3.5
平成26年	1～3月期	116	5.1	83	2.1	87	4.3	73	6.6

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成26年1～3月期）の業況判断D Iは（-）59.8で、前期（平成25年10～12月期）（-60.4）に比べ、0.6ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）50.5で、前期（-42.2）に比べ、8.3ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年1～3月期）と比較した業況判断D Iは（-）50.4で、前期（-50.6）に比べ、0.2ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年4～6月期）の業況見通しD Iは（-）61.4で、今期の業況判断（-59.8）に比べ、1.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

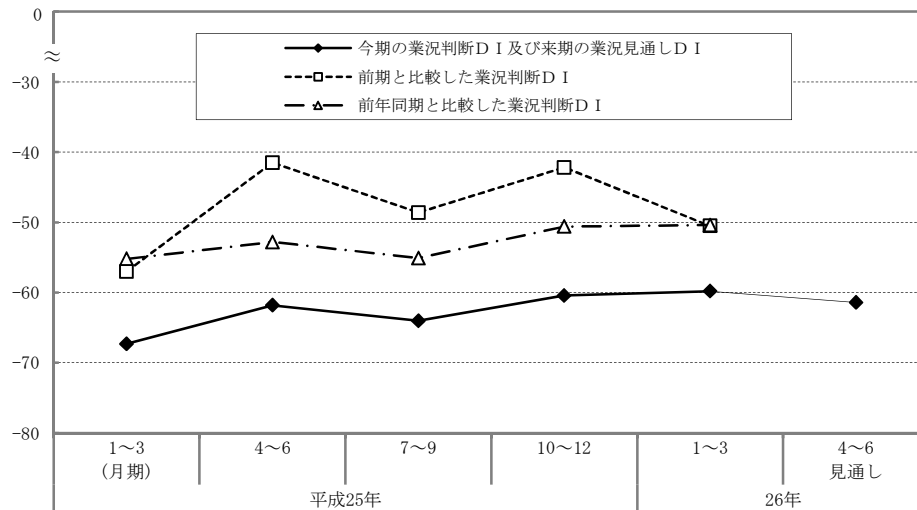
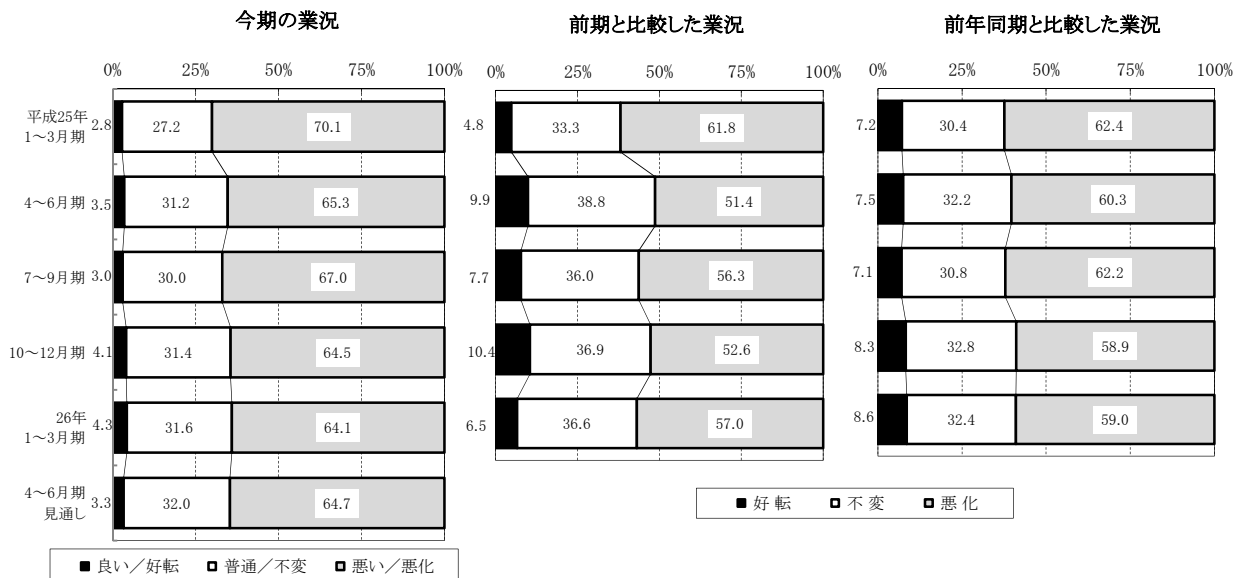


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

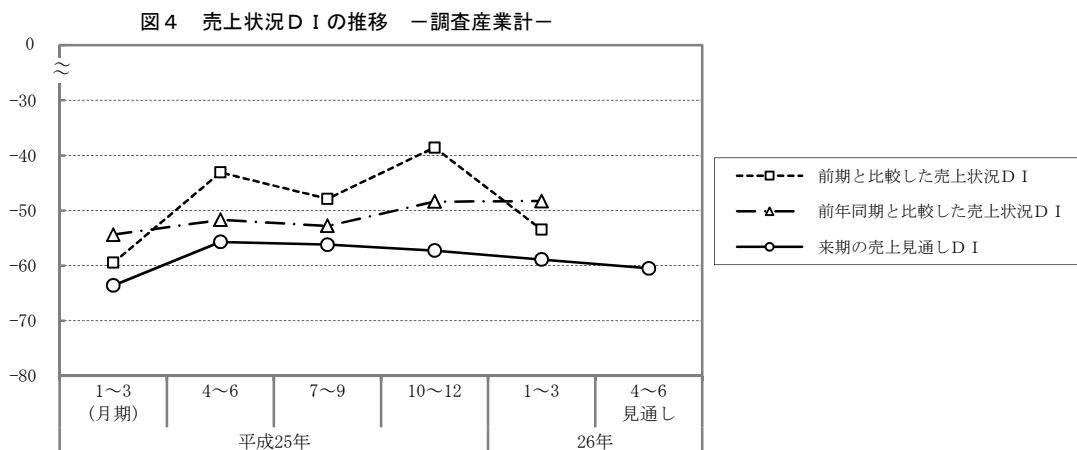
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)53.5 で、前期 (-38.6) に比べ、14.9 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)48.3 で、前期 (-48.4) に比べ、0.1 ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)60.5 で、前期における今期の売上見通し (-58.9) に比べ、1.6 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

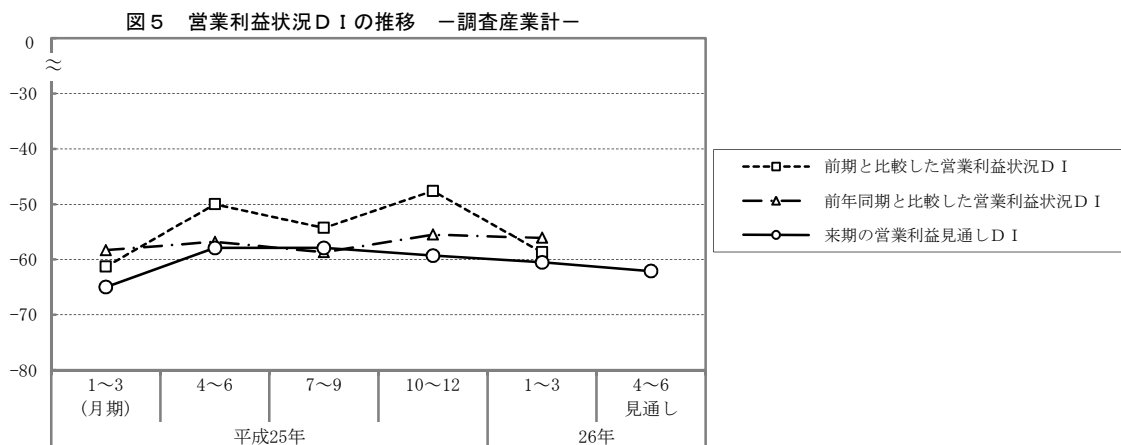
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)58.7 で、前期 (-47.6) に比べ、11.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)56.1 で、前期 (-55.5) に比べ、0.6 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

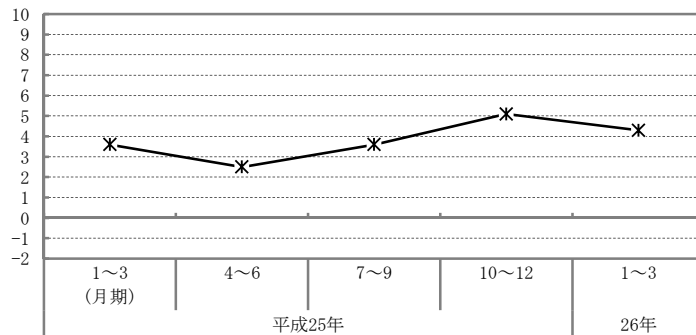
来期の営業利益見通しDIは (-)62.1 で、前期における今期の営業利益見通し (-60.5) に比べ、1.6ポイントの悪化の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)4.3 で、前期 (+5.1) に比べ、0.8ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

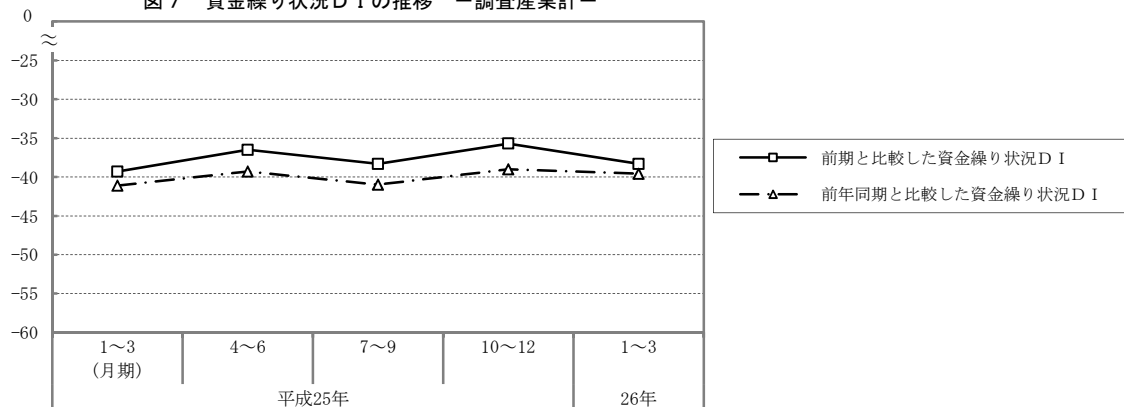


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)38.3 で、前期 (-35.7) に比べ、2.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.6 で、前期 (-39.0) に比べ、0.6ポイント悪化した。

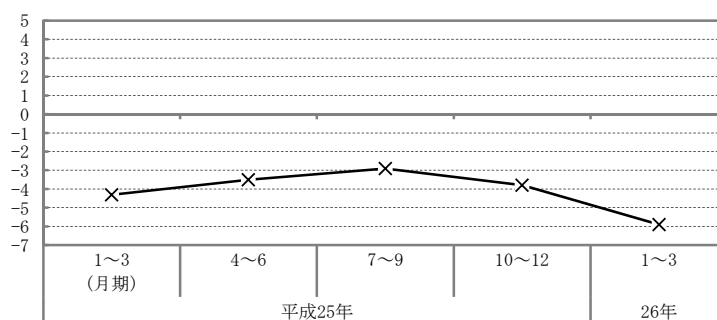
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.9 で、前期 (-3.8) に比べ、2.1ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成26年1～3月期）の業況判断DIは(-)43.3で、前期（平成25年10～12月期）(-42.4)に比べ、0.9ポイント悪化した。

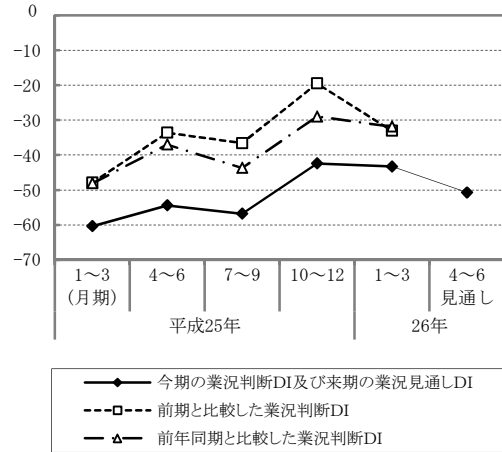
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)33.1で、前期(-19.5)に比べ、13.6ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)31.9で、前期(-29.0)に比べ、2.9ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年4～6月期）の業況見通しDIは(-)50.7で、今期の業況判断(-43.3)に比べ、7.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

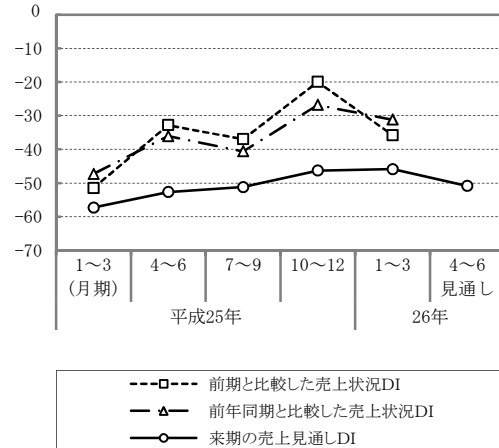
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)35.8で、前期(-20.0)に比べ、15.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)31.2で、前期(-26.8)に比べ、4.4ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)50.9で、前期における今期の売上見通し(-45.9)に比べ、5.0ポイントの悪化の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

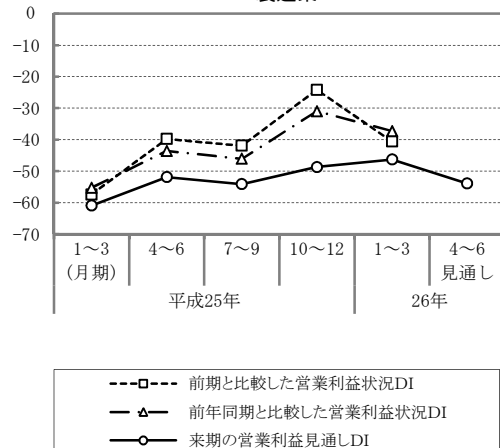
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)40.6で、前期(-24.2)に比べ、16.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)37.3で、前期(-31.0)に比べ、6.3ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)53.9で、前期における今期の営業利益見通し(-46.3)に比べ、7.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)0.9 で、前期 (+2.7) に比べ、1.8 ポイントト「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.0 で、前期 (-26.3) に比べ、2.7 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)24.9 で、前期 (-30.5) に比べ、5.6 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.6 で、前期 (-4.1) に比べ、2.5 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

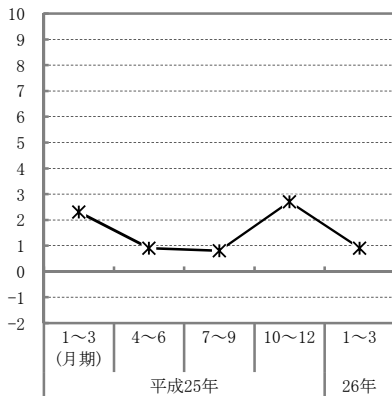


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

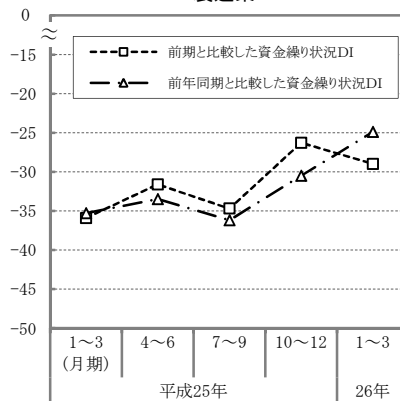
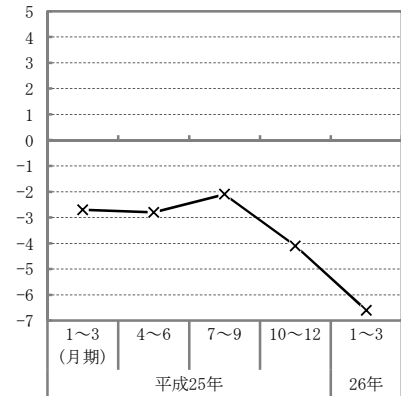


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期 (平成26年 1~3 月期) の業況判断DIは (-)57.2 で、前期 (平成25年 10~12 月期) (-62.5) に比べ、5.3 ポイント改善した。

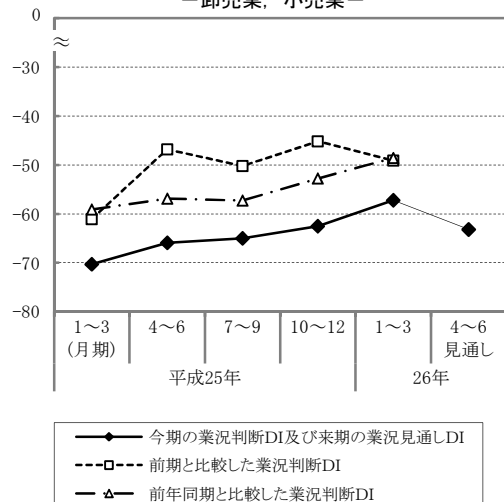
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)49.1 で、前期 (-45.2) に比べ、3.9 ポイント悪化した。

ウ 前年同期 (平成25年 1~3 月期) と比較した業況判断DIは (-)48.6 で、前期 (-52.8) に比べ、4.2 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期 (平成26年 4~6 月期) の業況見通しDIは (-)63.2 で、今期の業況判断 (-57.2) に比べ、6.0 ポイントの悪化の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

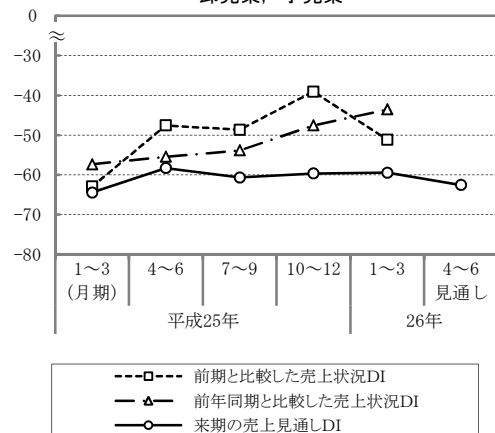
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)51.2で、前期(-39.1)に比べ、12.1ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)43.6で、前期(-47.6)に比べ、4.0ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)62.6で、前期における今期の売上見通し(-59.5)に比べ、3.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

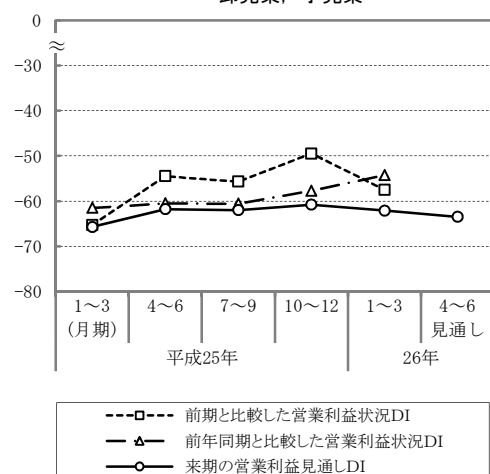
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)57.5で、前期(-49.5)に比べ、8.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)54.3で、前期(-57.7)に比べ、3.4ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)63.5で、前期における今期の営業利益見通し(-62.1)に比べ、1.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)8.3で、前期(+7.9)に比べ、0.4ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)38.7で、前期(-36.7)に比べ、2.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.2で、前期(-38.9)に比べ、0.3ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)6.2で、前期(-3.0)に比べ、3.2ポイント「不足」が拡大した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

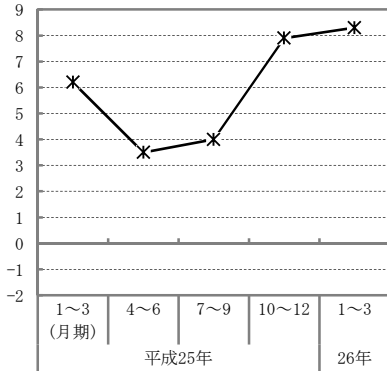


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

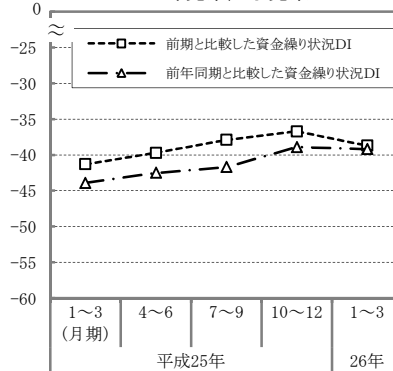
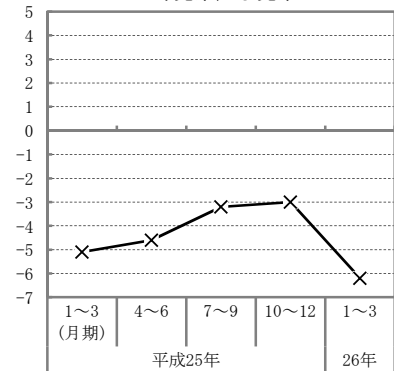


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



4 宿泊業、飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成26年1～3月期）の業況判断DIは(-)65.7で、前期（平成25年10～12月期）(-61.2)に比べ、4.5ポイント悪化した。

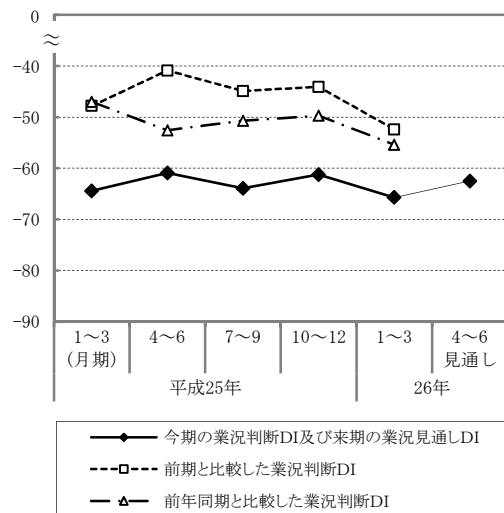
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)52.4で、前期(-44.1)に比べ、8.3ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)55.4で、前期(-49.7)に比べ、5.7ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年4～6月期）の業況見通しDIは(-)62.5で、今期の業況判断(-65.7)に比べ、3.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

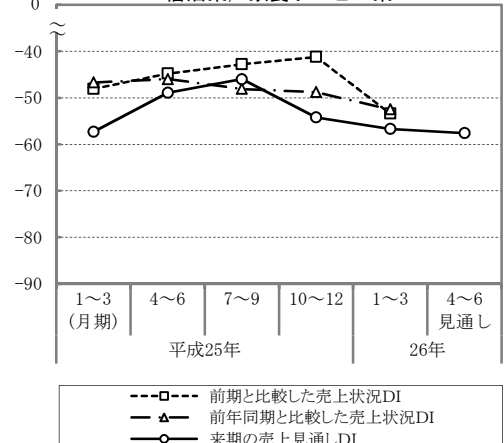
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)53.4で、前期(-41.2)に比べ、12.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)52.5で、前期(-48.8)に比べ、3.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)57.6で、前期における今期の売上見通し(-56.7)に比べ、0.9ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

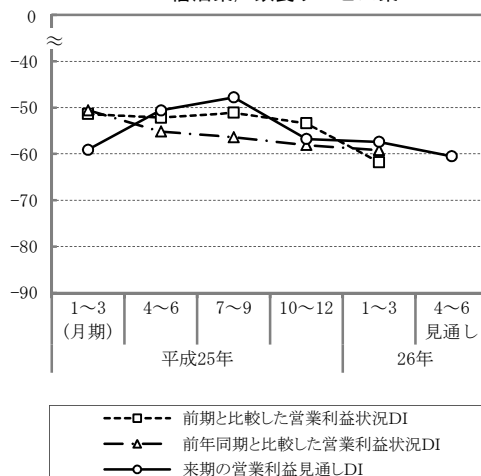
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)61.8で、前期(-53.4)に比べ、8.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)59.2で、前期(-58.1)に比べ、1.1ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)60.5で、前期における今期の営業利益見通し(-57.4)に比べ、3.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)1.3で、前期(+2.3)に比べ、1.0ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)41.9で、前期(-40.7)に比べ、1.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)44.8で、前期(-43.5)に比べ、1.3ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)7.4で、前期(-6.4)に比べ、1.0ポイント「不足」が拡大した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

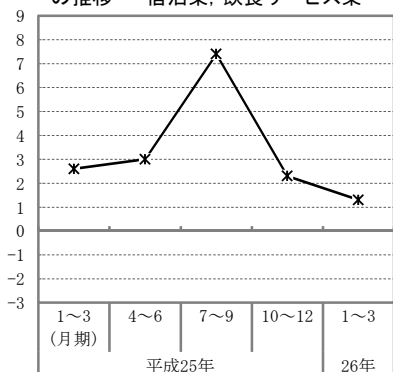


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

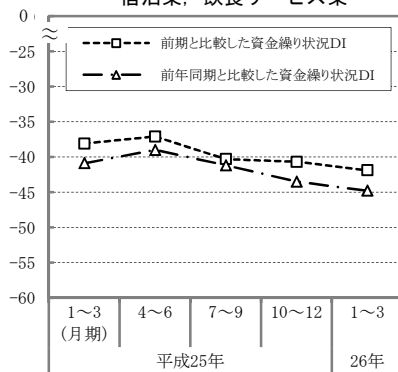
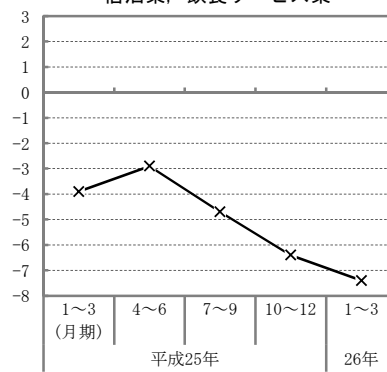


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成26年1～3月期）の業況判断DIは(-)67.2で、前期（平成25年10～12月期）(-66.3)に比べ、0.9ポイント悪化した。

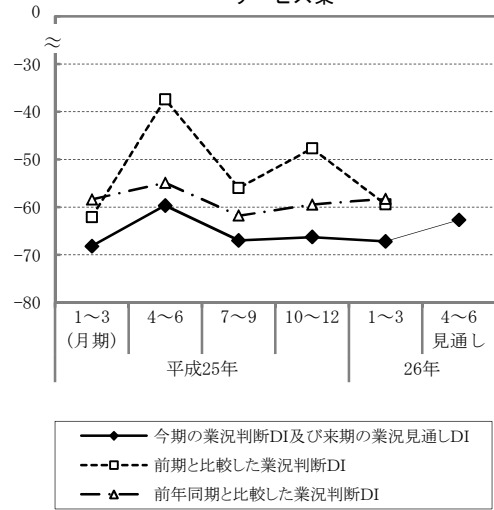
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)59.4で、前期(-47.7)に比べ、11.7ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成25年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)58.3で、前期(-59.5)に比べ、1.2ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年4～6月期）の業況見通しDIは(-)62.7で、今期の業況判断(-67.2)に比べ、4.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

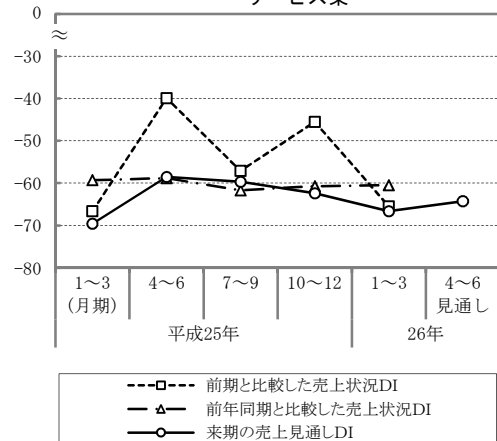
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)65.5で、前期(-45.5)に比べ、20.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)60.5で、前期(-60.7)に比べ、0.2ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)64.3で、前期における今期の売上見通し(-66.6)に比べ、2.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

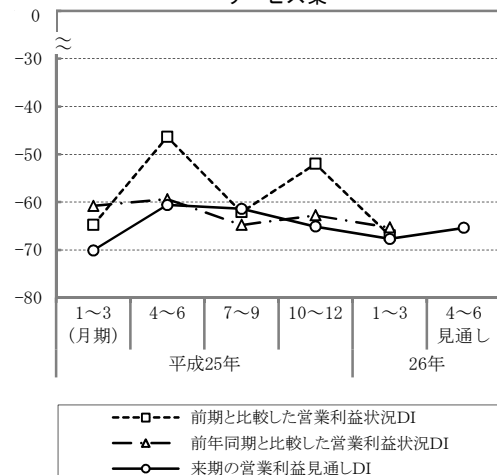
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)67.0で、前期(-52.0)に比べ、15.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)65.3で、前期(-62.8)に比べ、2.5ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)65.4で、前期における今期の営業利益見通し(-67.7)に比べ、2.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 2.0 で、前期(+ 4.3)に比べ、 2.3 ポイント「過剰」が縮小した。

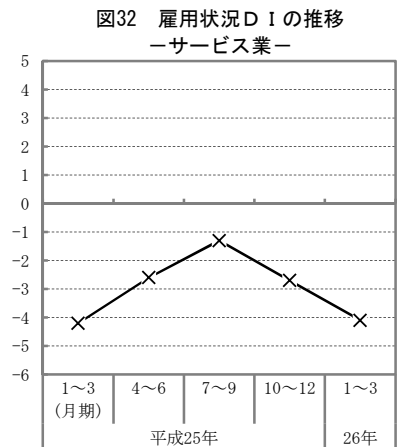
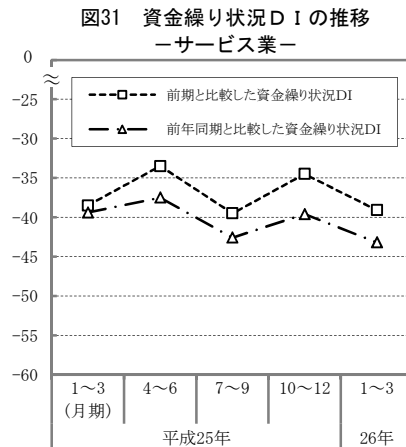
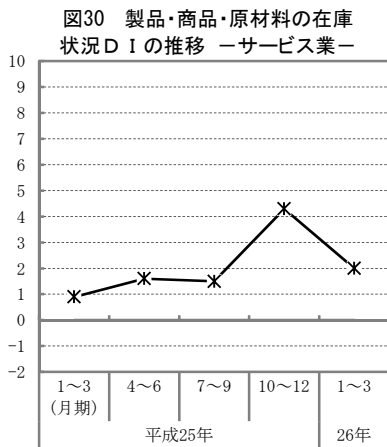
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 39.1 で、前期(- 34.5)に比べ、 4.6 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 43.2 で、前期(- 39.6)に比べ、 3.6 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 4.1 で、前期(- 2.7)に比べ、 1.4 ポイント「不足」が拡大した。



Ⅲ 営業収支

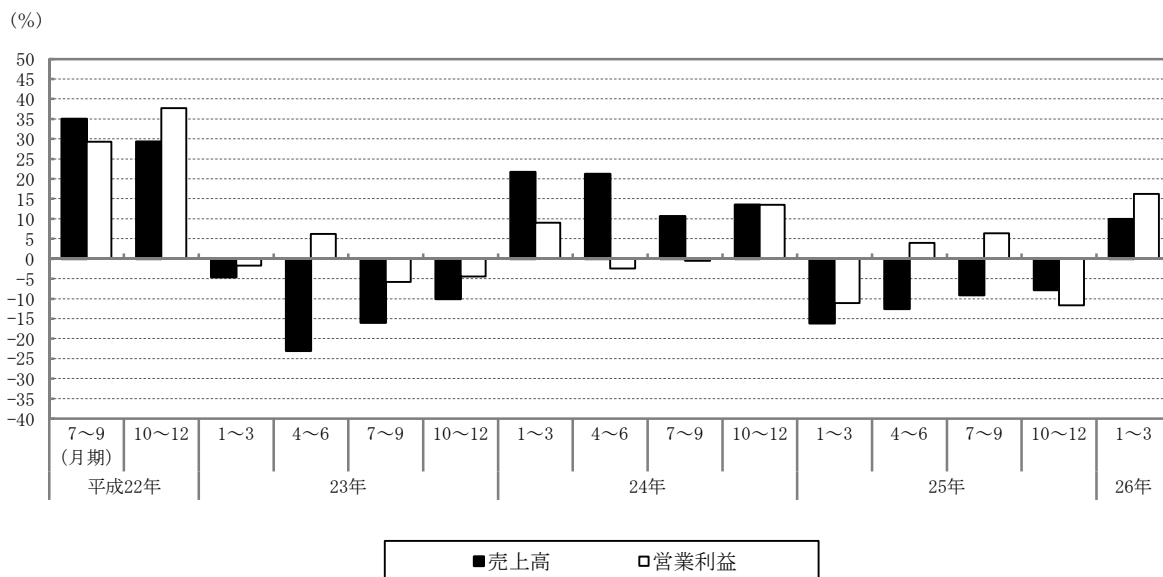
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は229万3000円で、これに対する費用は売上原価が82万4000円、営業費が81万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は65万4000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 9.9% で、5期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 16.2% で、2期ぶりに増加した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 — 製造業 —

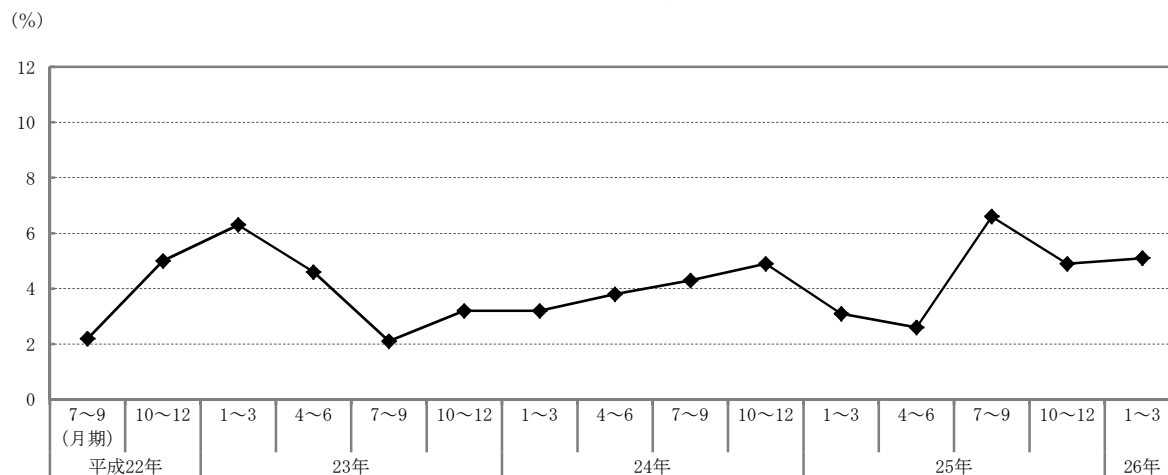


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は11万6000円で、前年同期(6万5000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は 5.1% で、前年同期(3.1%)を2.0ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 — 製造業 —



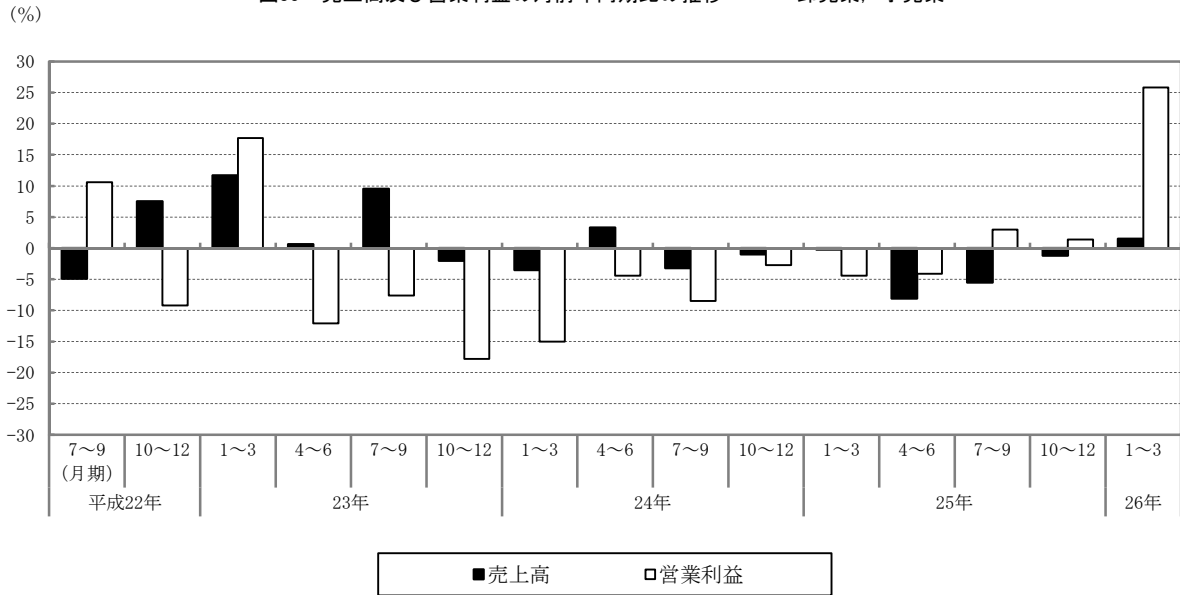
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は400万7000円で、これに対する費用は売上原価が266万3000円、営業費が88万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は46万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 1.5% で、7期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 25.8% で、3期連続で増加した。

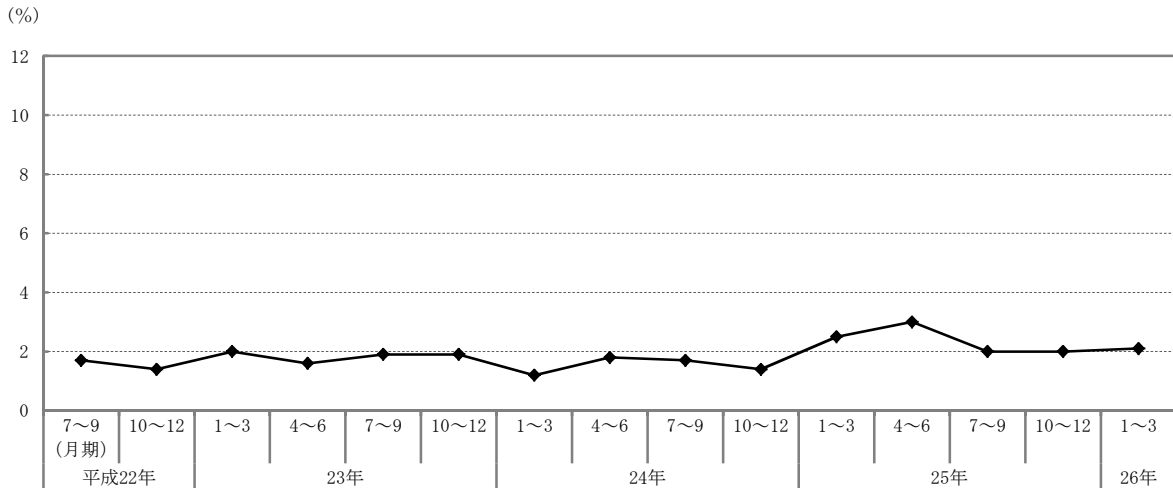
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万3000円で、前年同期(10万円)を下回った。また、設備投資率は 2.1% で、前年同期(2.5%)を 0.4 ポイント下回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー



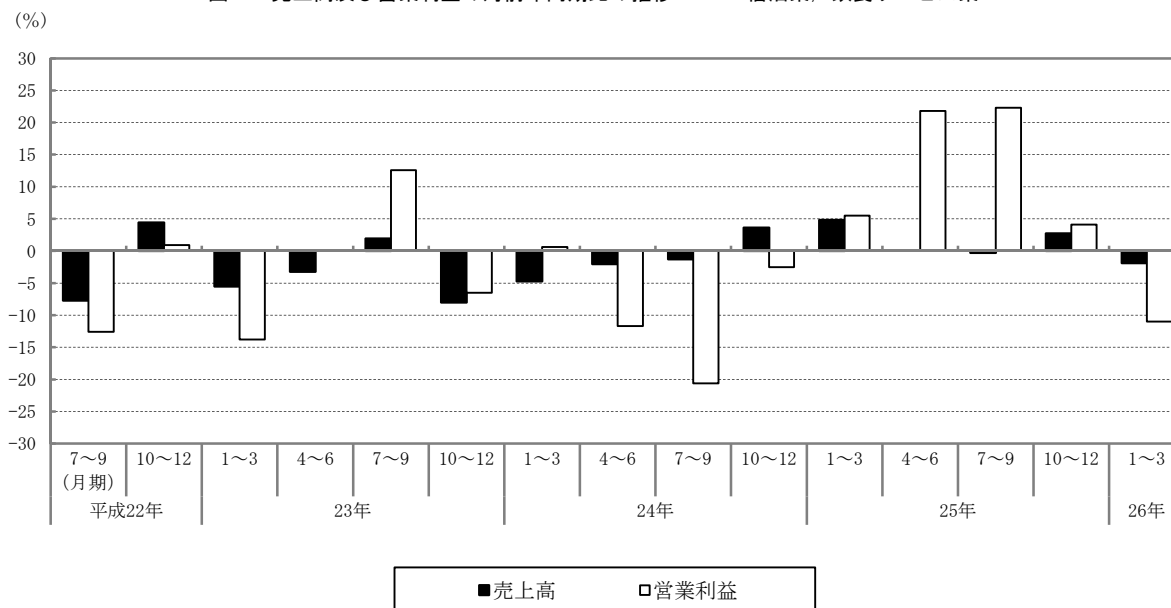
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は201万8000円で、これに対する費用は売上原価が84万8000円、営業費が82万9000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は34万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.9%で、2期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)11.0%で、5期ぶりに減少した。

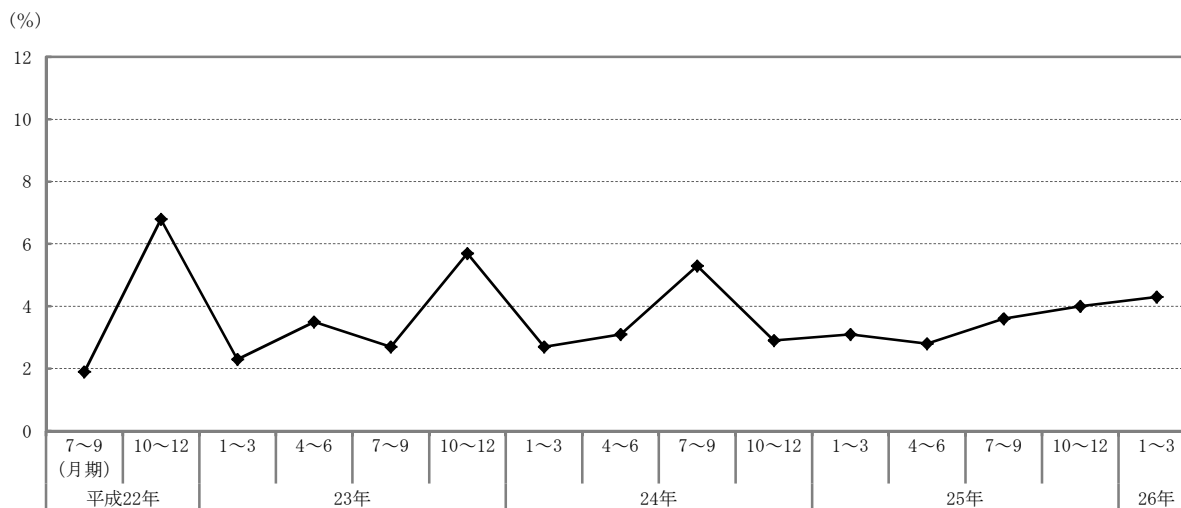
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万7000円で、前年同期(6万4000円)を上回った。また、設備投資率は4.3%で、前年同期(3.1%)を1.2ポイント上回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



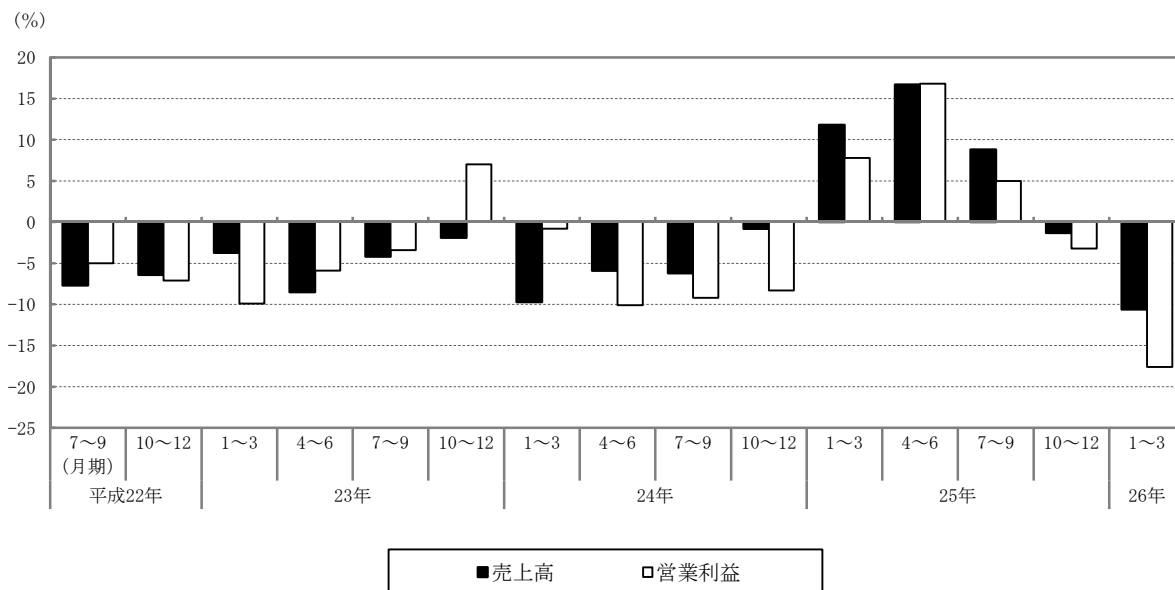
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は110万2000円で、これに対する費用は売上原価が17万9000円、営業費が57万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は35万2000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)10.6%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)17.6%で、2期連続で減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万3000円で、前年同期(12万5000円)を下回った。また、設備投資率は6.6%で、前年同期(10.1%)を3.5ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

